

平成30年度 南河内第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン

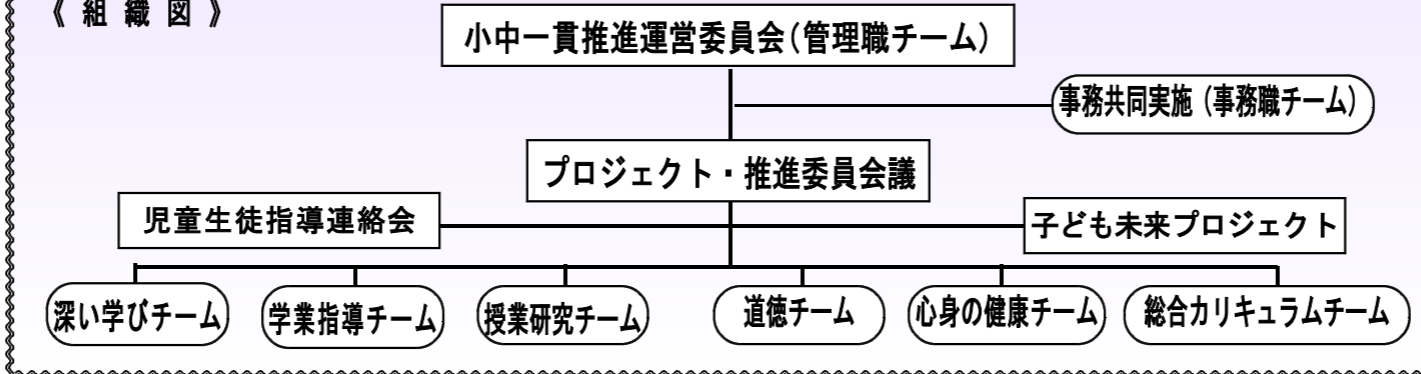
〈長期ビジョン〉

夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童生徒の育成

〈目指す子ども像〉

- 〈まなび〉主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
- 〈こころ〉思いやりの心をもち、自他を大切にできる子ども
- 〈からだ〉心身の健康に関心をもち、たくましく実践できる子ども
- 〈ちいき〉社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

〈組織図〉



＝下野市学校教育目標＝

- 1 自主的に学び、主体的に問題を解決しようとする子どもを育てる。
- 2 豊かな情操と道徳性を備え、礼儀正しい子どもを育てる。
- 3 自他の生命・人権を尊重し、強い意志と健康な身体をもつ子どもを育てる。
- 4 勤労・奉仕の精神を理解し、すすんで社会のためにつくそうとする子どもを育てる。
- 5 郷土の文化と伝統・自然に誇りをもち、自信をもって(国際)社会で活躍できる資質を備えた子どもを育てる。

＝下野市小中一貫教育の方針＝

- 9年間の学びをつなぎ、確かな学力、健やかな体の育成、豊かな心の育成を保証します。
- 9年間の一貫した児童生徒理解により、子どもたちが安心して学べる場を提供します。
- 郷土への理解を深め、ふるさとを愛する心を育てる教育活動を推進します。
- 「学校運営協議会」の導入により、地域とともにある学校づくりを推進します。

＝地域の様子＝

本地区は、自治医科大学および大学附属病院の開業、自治医大駅の新設により、急速に発展した地域である。地域住民は、医療関係者、会社員、公務員の占める割合が高い。地域や保護者の学校教育への関心は高く、協力的である。

＝児童生徒の様子＝

知的好奇心が高く、学習態度は良好で、課題に対し熱心に取り組むことができる。また、礼儀正しく落ち着いた生活態度で学校生活を送っている。

＝各学校の学校教育目標(目指す児童生徒像)＝



南河内第二中学校
人間性豊かで、意欲あふれる中学生
1 自ら考え学ぶ生徒(確かな学力)
2 思いやりのある生徒(豊かな人間性)
3 体力と気力をきたえる生徒(健康・体力)
知・徳・体の調和のとれた教育で「生きる力」を育成



祇園小学校
新しい時代に共によりよく生きようとする、心身ともに健康で、知性に富み、情操豊かな子どもの育成
○健康で明るい子
○進んで学ぶ子
○心の豊かな子



緑小学校
自ら考え、主体的に行動できる心豊かな子どもの育成
○学び合う子
○思いやる子
○きたえる子

児童・生徒数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計
祇園小	51	52	61	60	53	62				339
緑小	31	47	31	48	42	39				238
第二中							116	98	123	337
合計	82	99	92	108	95	101	116	98	123	914

まなび

基礎・基本を定着させ、児童生徒の主体性を引き出します。

- 9年間を見通した教育計画の推進
- 3校での授業研究(重点教科:理科)
- 学力調査の分析を生かした授業改善
- 思考過程の見えるノートづくり
- 小中教員の相互乗り入れ授業
- 家庭学習の定着と充実



理科の授業



相互乗り入れ授業

こころ

自他ともに思いやりの心をもって接する児童生徒を育てます。

- 挨拶の習慣化と望ましい人間関係づくり
- 道徳教育の充実
- 交流活動を通じた自己有用感の育成
- 読書活動の推進



道徳の授業



小中交流あいさつ運動

からだ

心身の健康に対する関心と体力の向上を目指します。

- 正しい姿勢の定着
- 学校栄養職員と連携した食育
- 養護教諭と連携した保健指導
- 体力づくりの充実



体力づくり



食育授業

ちいき

保護者や地域と連携して、地域への愛着を育てます。

- 児童会・生徒会によるボランティア活動
- 小中合同のクリーン活動
- 地域行事への参加・協力(エコライフまつり)
- 地域ボランティアによる体験活動とキャリア教育の充実



むかし遊び



クリーン活動